佐々木ミノル
SASAKI MINORU
2
ブレイクハンズ
星石を継ぐ者
MFコミックス
アライブシリーズ

逃げるな！
出て来い
セイリュウ・ルー!!

Chapter 4 決別

ブレイク・ハンズ

星石を継ぐ者

BREAK HANDS 2

CONTENTS

早く
父さんや
兄さんのような
軍人に
なりたかった

強くて
正しくて

入って3年で
特務小隊の
隊長だぜ？
とんでもない
バケモノだよ
お前の兄貴は

ずっと
憧れだった

ゴッ

ギリ…

ああ――

水面に波動をぶつけてその反動で船へ飛び移る……

理論上可能であることはわかりますが

反動の大きさや方向をあれほど正確にコントロールできるとは……

じゃあ
フレイル・アルジュナは
残れ
ローランと
ミセリ・コルデは
この船でザン・ルーの
援護に向かえ
え？
姫は無傷で
セイリュウ・ルー
その他の乗員は
生死問わずで構わん
全員 拘束だ
了解
ピッ
隊長！
私は……
私達は？
ちょっと
待ってろ

ザザ…
全長70ヤードもの大型船の乗組員
もはや全員が一緒に動いてはいないとしても
あの小船じゃせいぜい4~5人しか乗れない
いくら何でも少なすぎやしないか
何か他に
あるんじゃないのかー

どうして

こんな所にいるんですか……!!

セレニティス軍の制服はどうしたんですか!

私は何があっても
己が正しいと
思った道を貫く

信じて
離してくれないか

覚えてるよ
……!!
兄さんの
言う事を
信じた

だから俺は
あの時 手を
離したんだ
なのに…!!

俺達家族の写真を握りしめて血まみれで死んだよ!!
あの死に様を見たら兄さんだってそんな事…
見たよ
見た上で言ってるんだよ
団長をああしたのは私だ

わかったら
もう――……
あ
あああ
ああアア!!

ドッ
ドシャッ!

うあぁッ

ザッ
……ッふ
ぐら
ぐらっ
フーーッ
フーーッ
脳震とう
起こさなくなったんだな
……フーーッ
知らないうちにだいぶ
黙れッ!!!

兄貴みたいな口を利くな!!!

お前はもう敵だっ!!

この砲弾を受けて
生きていられたなら
またどこかで
会おう
ジャコッ
く…!!
受けては
ダメ!!
ダッ
!?

ドゴッ
ズリッザッ
アラ？
新手に追いつかれ――
オオオ
あ…！

ドオッ
うわぁ!!!
ズ
弾が…
え？
返って来た…!?

特殊な砲弾のようだけど第四師団の盾なら――
全ての攻撃を受け流せる

コルデ准尉！
く…
ならば——
この弾ならどうだ！
ジャコン！

バラ…
な…
ゴトッ
ローラン大尉！
オォォ

斬れタ…!? ハハ…
まるでケーキを切るみたいに
叩きつける通常の剣と
私の剣は違う
双肩の星石の力が切先まで伝播している
何物をも真っ二つに斬る剣だ

こっちも動いたな

ザザァァ…

？

フレイル・アルジュナ あの貨物船に俺を連れて飛び移れるか

え？

予め2つの船を用意し別々に逃走する予定だったんだろ

混乱に乗じて動き出しやがった

ザザザ…

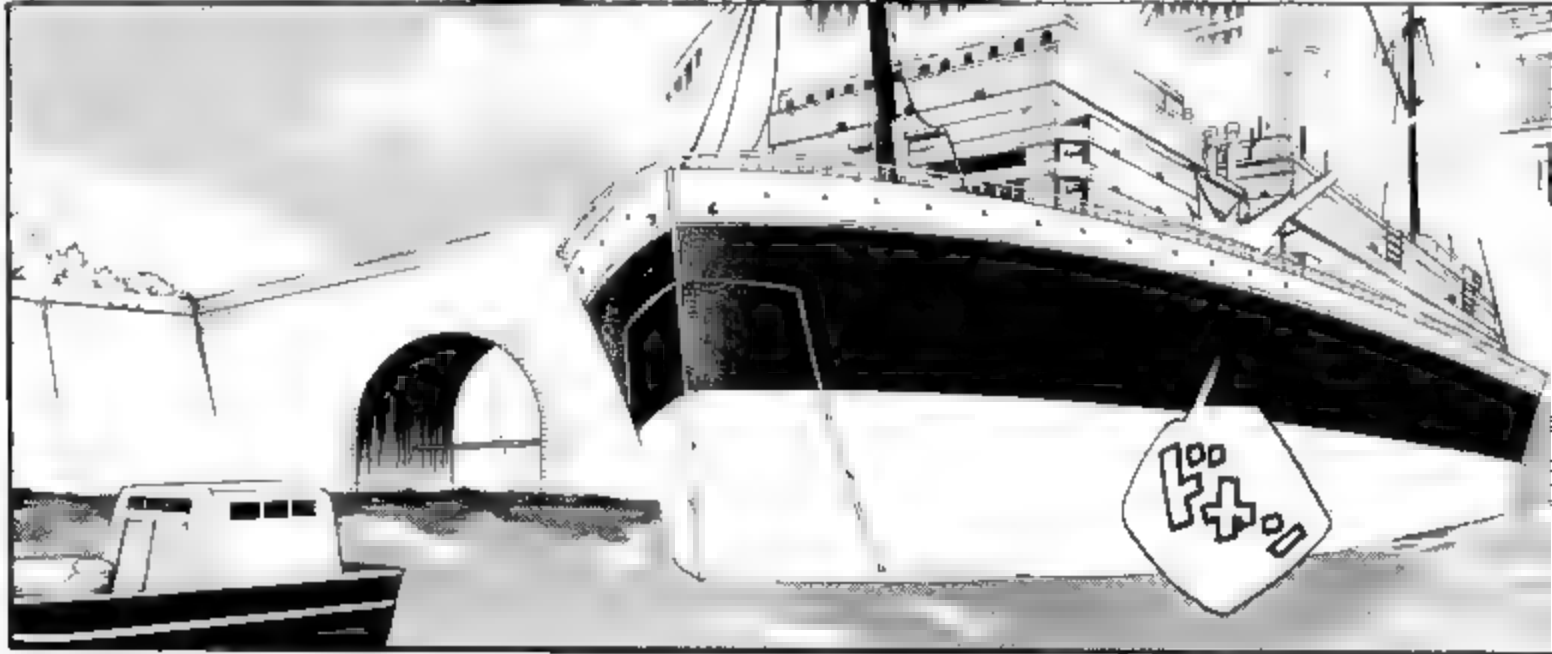
じゃあ あれも敵の…！

あぁ セイリュウ・ルー以外の乗組員ほとんどが乗ってるだろう

に…

ヒュウ！
さすが〝翼軍〟第二師団

ドォッ!!

!!
向こうさんも準備万端だな
行けるかフレイ…

全員死ね!!!

ザザ
ザザ
セイリュウ・ルー
まずは皇女殿下の居所を言え
殿下は船内におられるのか？
セイリュウ向こうが…
……交換条件だ
皇女殿下を渡す代わりに我々を見逃せ
な……！
……まずは皇女殿下の無事を確認してからだ

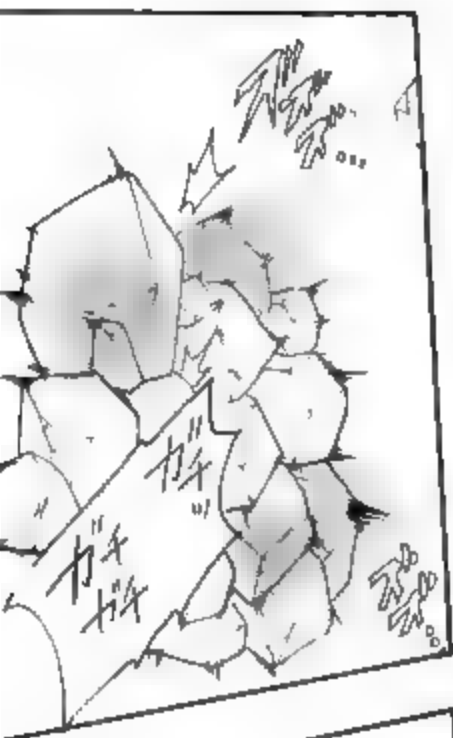
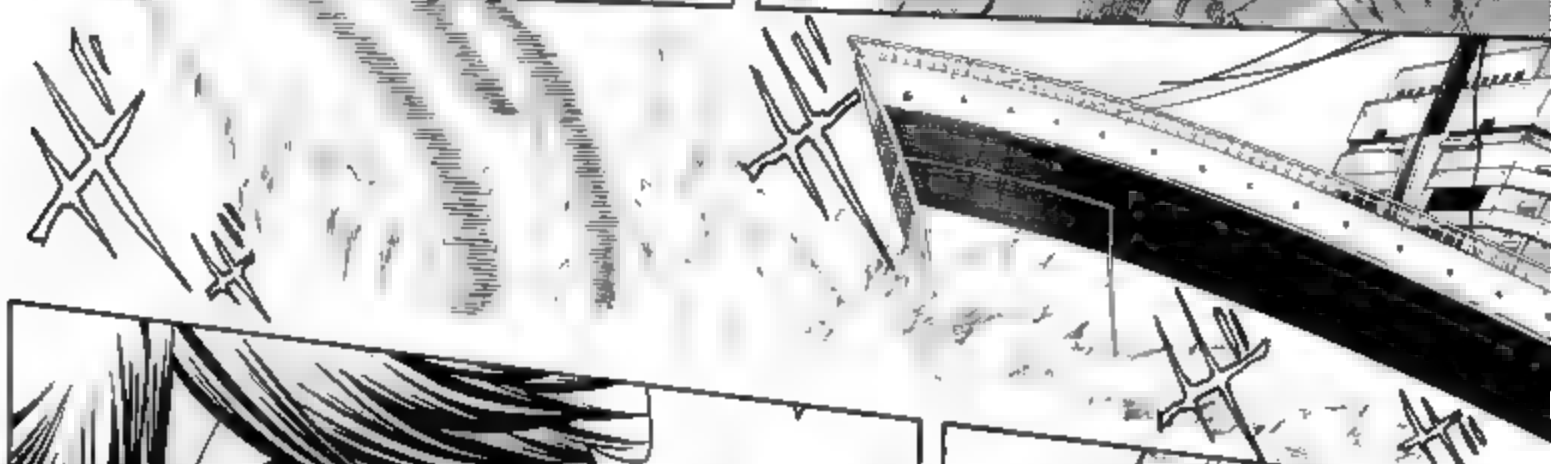
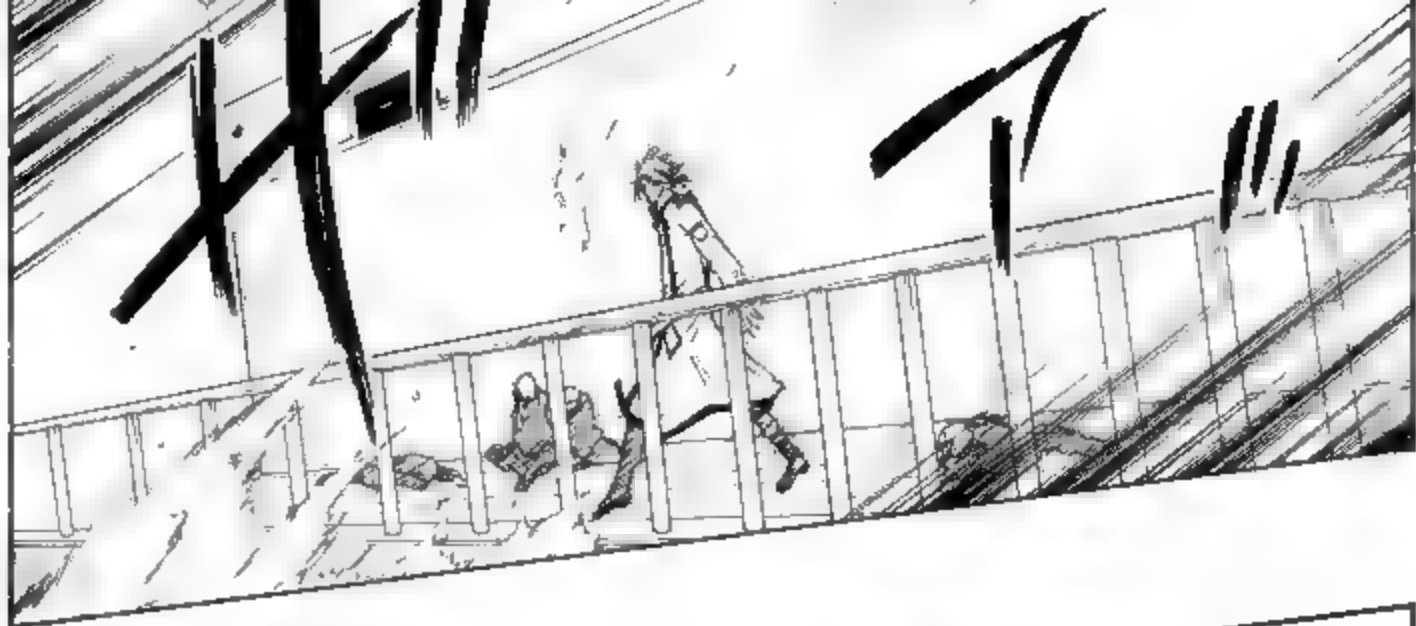
連れて来い
ズズ
ズル…
よっ
……!!
ザワッ…
ヒラ…

エ…

エマ姫!!!

ゴトゴト
姫……じゃない……
ズト…
ビクン…
キィ…
ド…

ビュイイイ
ぷぷぷぷ…
ガチッ
ガチ
ガチ
ぷぷぷ。
星石が寄り集まって…！
いけない!!

ぐあア!!!
ビキ
ビキ
あっ……!!
ビキ
……!!
ギャ
!!!
凶角…!
マズい!!

ハア
ハア
……
セイリュウ……コレは何ゴト——?
——……『凶角共鳴』
星石にある周波数の波動を当てると特殊な磁波が出て相互共鳴が起きる
体内に星石を有する〝星石持ち〟は共鳴に伴う特殊な震動により動けなくなる…

行きまショウカ

グッ

待ェ……
ズル…
……
どうして……!!!

ガッ
うあッ
しつこいヨ
ザ…
ザザ…
……
あーあー

ハデにやられテルネ
!
ドン!ドン!ドン
ドン!ドン
ドンドン!
あ……く……!!

セイリュウ・ルー

……クロス・ポウド

せっかく
宝物の在り処を
突きとめたって
のに……

……
よく立っていられるな……
とっさに星石を眠らせて共鳴規模を最小化したか

ナメんな
この程度で俺様が落とせるかよ
テメェは絶対逃げ切れねぇぞ
俺がいますから！

ガッ

まあ今回はこれぐらいで見逃してやるよ

ザーァァ
ザン…

…………!
ザザァァッ
エ……
…………
ザン!!

ザン……

ポロ
ポロ
ポロ

…………

ブレイブ・ハンズ
星石を継ぐ者

何だよ
このありさまは……！
セレニティス軍と賊がもめたらしいが……
詳しくはわからん
〝人間兵器〟軍か
あの鉄柵も武器も何も使わずに破壊したらしいぜ？
まったく化け物かよ
〝星石持ち〟って連中はよ……

Chapter 5 勝負

痛みはありますか?
いや
こちらは?
少し

どよーん。。。

……

イラ。。。

あんなに強烈な「凶角共鳴」は初めてだ

大した兄貴だな

お前も敵側につけば良かったと思ってるんじゃないのか？

あんな奴もう兄貴とは思っていない

どうだか
口では何と言おうと同じ血が流れているのだから……
黙れ!!

いちいち兄と一緒に考えるな！
ガタッ
俺と兄は違う人間だ!!
……！
な……
何だその口の利き方！
私の方が階級は上だぞ！
ガッ
上官なら何を言っても良いのか！
やめんか貴様ら！
気が立つのはわかるが——
ローラン！

出るぞ
ついて来い

は
仕事ですか!? なら我々も
ガキはいらん

ガ……
ガキ――!!?
あぁ そうだ

お前らにも任務をやる
ここに書いてあるものを 夕方までに調達してこい

調達任務……?

荷物の量が多いからな
三人全員で行けよ
ザッ

足を引っぱるなよ？
トロそーだからな
お前は

アルジュナ少尉こそ
……
少しは他人に
合わせて下さいね

ザク
ザク
ザク…
キレイ…
すごい細工の髪飾り
カルセドニーの品かしら
見て下さいアルジュナ少尉
……

ん？
…………

このカブトはかの名将エンドロイの斧を受けても割れなかったと書いてある
星石の〝尖突〟にも耐えうるのかね？
さあ……

しかし…
なぜ士官の私がこんな下働きを
でもこんな機会なかなかないですし
私ポスボラス初めてです

さすが流通の拠点ですね
スゴイお店の数

綿製の羽織買って来ました

あ お疲れ様です

いい羽織が見つかりましたね

何に使うのかはわからないけどね

バカかお前は！

あ! おなか空きましたね
あのワゴンで昼食買って来ましょう!

わ――― おいしそう―――♡

チキンのサンドとハムのサンドどっちがいいかしら

ビスキュイ・ド・サヴォワ！

カットして売ってるのか！

タルト・タタン アマンド・ショコラもある！

ワゴンで売っているのは初めて見た！

……

アルジュナ少尉はお菓子が好きなんですね

ああ 香りが良くて甘いところがいい

あと見た目が凝ってるところもいい！

いてっ
口には
気をつけろ!!
……
何だよ!
私に
気安く
口をきくな!
私は第二師団の
模擬戦では
負けナシだったん
だぞ!!
痛い目に
遭いたいのか!
何が
負けナシ
だよ…!
昨日
負けたじゃ
ないか
セイリュウ・ルー
一人に!
俺もアンタも
手も足も
出なかった!!

ザン・ルー
………
上官もいないことだし
ここらでどっちが上か
決めておこうじゃないか

私はお前が
気に入らなかったんだ
最初からな！

な
何を
言ってるん
ですか
二人とも
わっ
荷物を
持ってろ

私に勝てないんじゃ
セイリュウ・ルーにも
勝てないぞ

………
ムカ

やめて下さいってば！二人とも

よォい

ド

ン!!

敵は書類上〝三日月公社〟と名乗ってますね
出国目的は星石の輸出
奴らと関わった税関職員からも調書をとれ
は
三日月ね……
つながりました
あ
姉さん？俺だけど
ニコッ♡

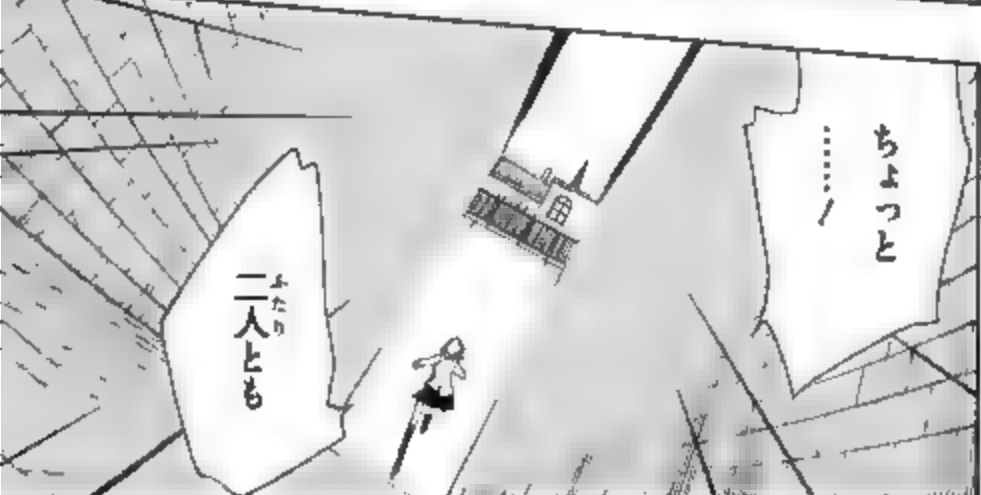
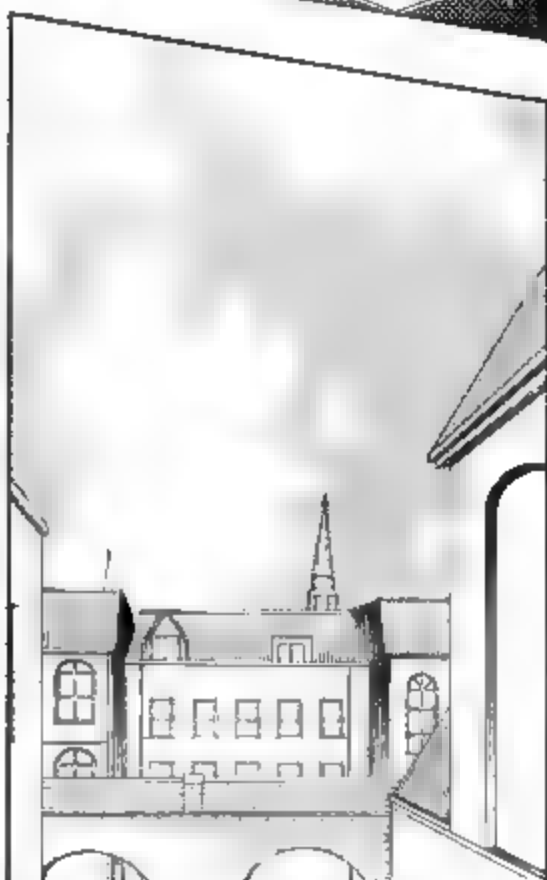
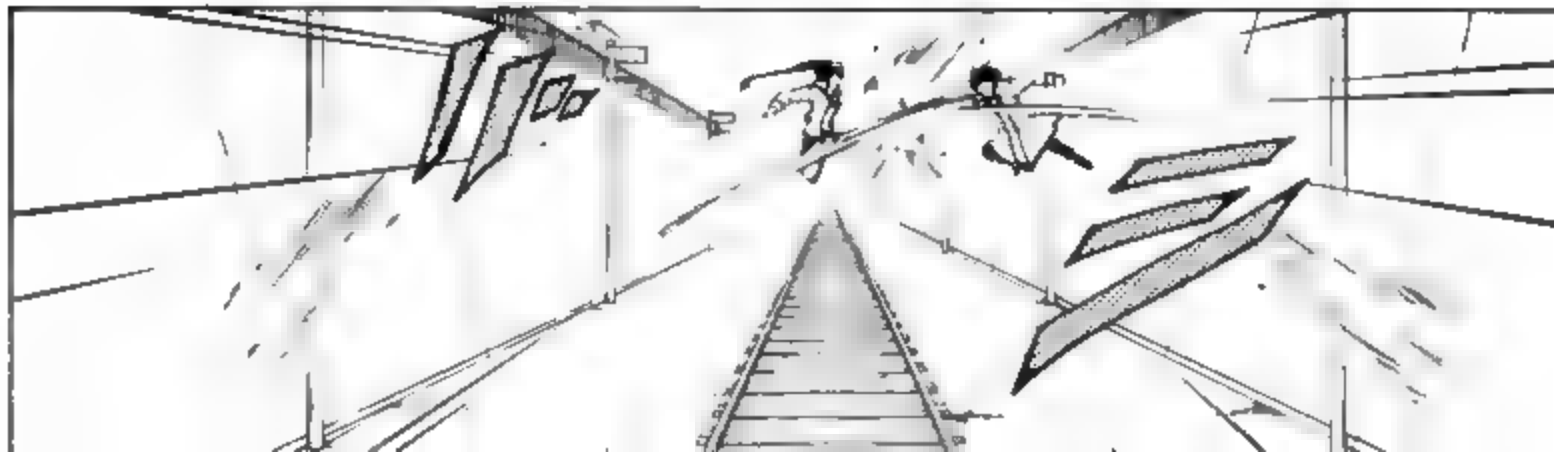
『俺だけど』…？
いけしゃあしゃあとよくも…!!
アレ？怒ってるんですか？
当たり前だ!!
南下したはずの貴様がなぜポスポラスにいる！
まあまあ 結果的に敵も北に向かってたワケですから
早期に布陣を再編成できて良かったじゃないですか
……
俺はこのままいち早く敵を追いたいんですが
許可は下りますか？
…やむを得まいだが状況報告は怠るな！
いいな
はい

それと
もう一つ
カルセドニーの古地図を送ってほしいんですが
古地図？
そんなもの
その辺で
売ってるだろう

俺がほしいのは
軍用地図もしくは
大皇国分裂前の
地図ですよ

クロス
はい
これ以上の
独断専行は
やめろ

このやり方では
手柄を立てる前に
抹殺されるぞ

俺が死んだら
泣くのは姉さん
ぐらいですかね
泣かん！
切るぞ
それは我々が
知っておくべき
事実であるはずです
手柄云々
だけでなく…
暴くべき
何かを感じ
るんですよ
は
は
ちょっと
……！
二人とも

もらっても致命傷にはならないけど…

すごい速さだ

確かに強いな

かすっただけの拳がとんでもなく重いな…

まともに喰らったらけっこうなダメージになる

あれが〝攻めの双璧〟の闘い……

ルー准尉は力で
アルジュナ少尉は速さで
敵に切りこんでいく！

ドドド
ドドド
ゴッ
……か……
感心してる場合じゃなかった
キ
イィィ
もうやめて下さい！いくら郊外とはいえもし民間人が来たら…！
!!

コルデ准尉！ジャマするな!!
ケガをするから下がってて!!
下がってはいられません！
私達の敵はもっと大きなものでしょう!?
こんなどうでもいい事で争わないで下さい!!
ダッ
どうでもよくなんかない！
強くならなきゃ……!!
強く!!

……
そうだ！
〝皇国の剣〟たる我々には大切な事だ!!
守りのお前にはわからん！
〝盾〟は大人しくそこで見ていろ！

決着だルー!!!
俺は強くなる!!
私はもう強い!!

ブォオオオ

いけない
ここ線路…！
あ
危ない!!

列車……!!
波動で…
ダメだ
列車には一般人が乗ってる!!
ーー!
上手く着地しろよ!
!

ガガン
ゴゴン
ガガン
ゴゴッ…
……あ
キン…
これは

イイイ

キィ
ハァハァ
ハァ

盾を2つ同時に…
キン…
しかもこんなに場所も正確に
あ…！
ありがとうコルデ准…
いっ？
パッ
パッ
ぐわーーーッ
ドシャア

仲間が要らないなら一人で任務に就けばいいわ！

私は医療兵として教育を受けてきました
アンバーの戦場にも連れていかれたわ

人体には傷つけば致命傷になる箇所がたくさんあるの!
どんなに強い戦士でも死ぬことはあるのよ

あなた達のような仲間と協力もできない戦士が
攻防合わせて成り立つ戦いに勝てるとは思えない!!

……

ゴメン

……
これで大丈夫です
かすり傷だから
すぐ塞がるはず

ずん…

………

じゃあ…
ルー准尉の手当てしてきますね
………お前が行った戦場とは
アンバー北部の戦場の事か

―――…
ええ

私は連れて行ってもらえなかった
あそこへは手練れの戦士しか行けぬと

私は…
〝第四師団の盾〟を使えるので致命傷は受けずにすみます
それが
守りの強さか
バタン
仲間…
協力…
…………

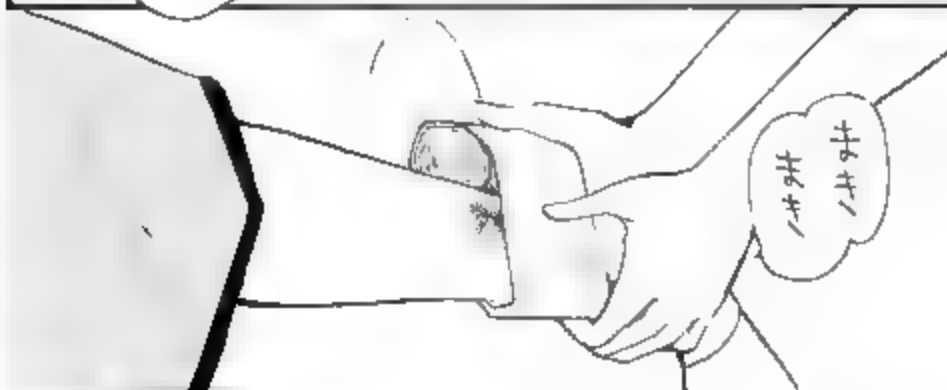
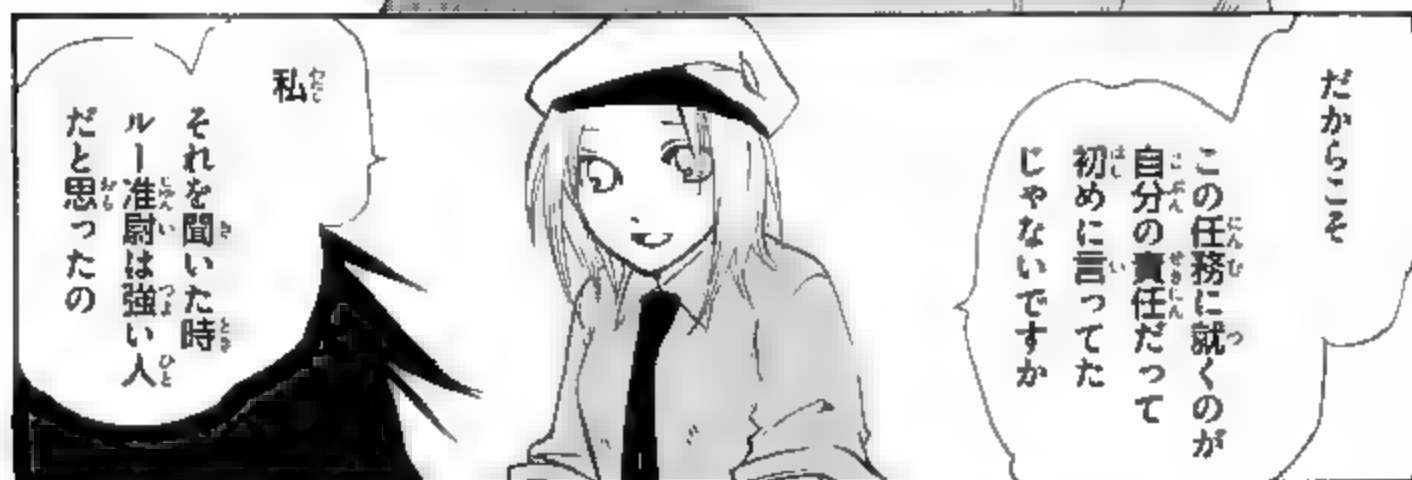
コンコン

ルー准尉
手当てをしにきました…
わぁ
ボロボロ

やっちゃった……
?

ルー准尉?

昨日… 一瞬だけエマ姫が見えたんです

泣いてた
皇宮で姫がさらわれた時も居合わせたのに何もできなかったし……
いつも無力なんです
俺
まきまき
焦るんだ

アルジュナ少尉の言うとおり
ずっとセイリュウ・ルーには勝てないかもしれない
俺はアイツと違って弱い
アイツと…同じ血だけは流れてるのに
……！
だからこそこの任務に就くのが自分の責任だって初めに言ってたじゃないですか
私それを聞いた時ルー准尉は強い人だと思ったの
お兄さんを止めましょう

………

…〝兄さん〟

うん

ボロッ

兄さんだった…

憧れの兄さんだったんだ……!!

やっぱりダメだ…！

俺は泣いてばかりだ……

第四師団の医療班でも心の傷は治せないけど…

涙は心の傷に一番効くんですって

ほかほか
……
バタン

戻ったぞ！

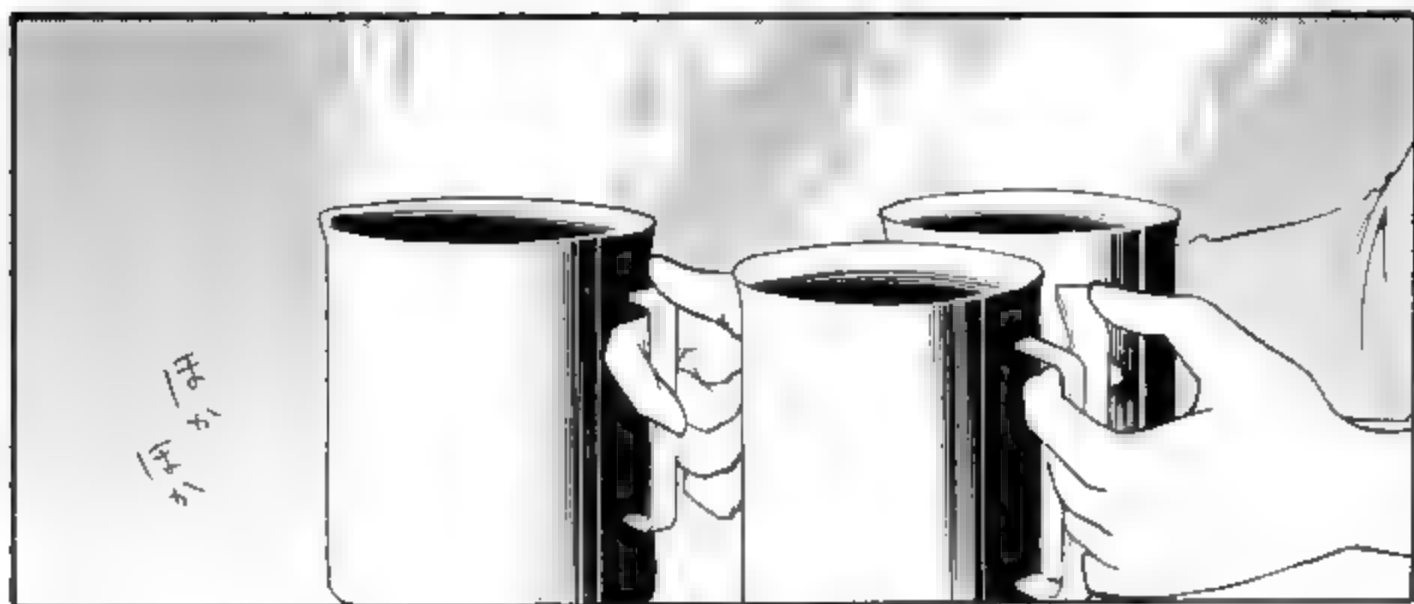
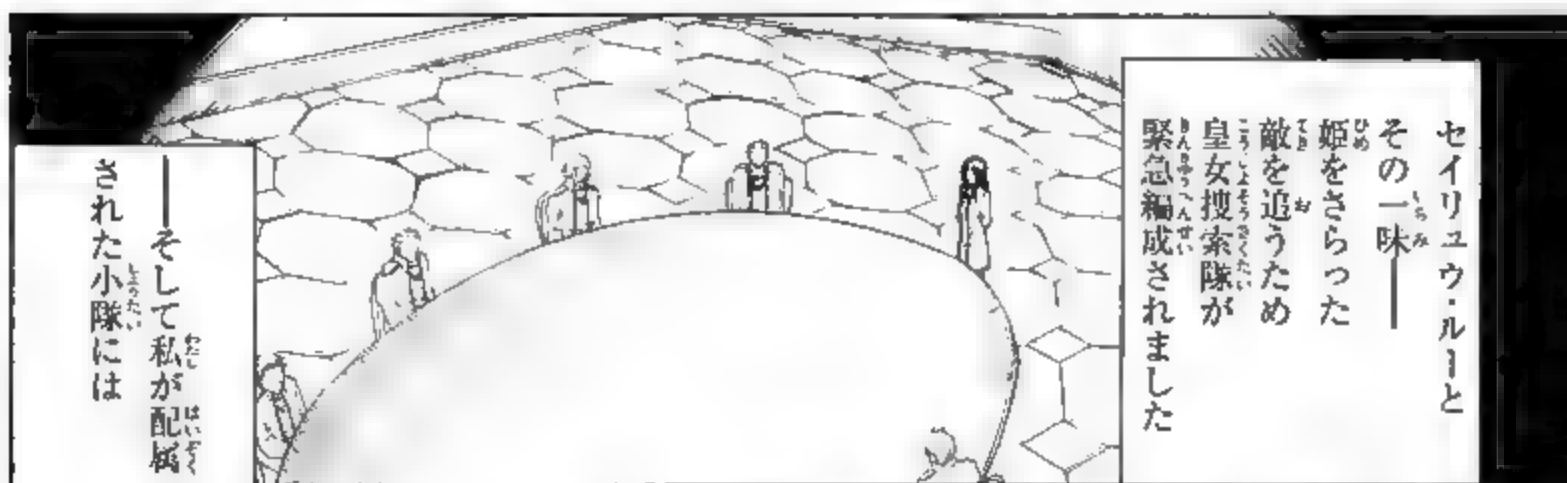
お疲れ様です！
おう
？
何でコーヒー3杯も淹れてんだ

別に何でも
ガチャ
お帰りなさい！

それより調達任務無事完了しました！
どっ
ああ

お！　いい羽織だな
寝間着にちょうどいいぜ
寝間着!??

準備しろ
国境を越えるぞ
目的地が決まった！

うまくすれば
またすぐ敵に接触できる！

四日前――
私達の国
セレニティスは
突如
何者かの襲撃を
受けました
私
ミセリ・コルデが
部隊に到着した
時にはもう
敵は
皇女エマ姫を
さらって
姿を
消していました

ザン・ルー准尉

殺された
ルー師団長の
次男

裏切者
セイリュウ・ルーの
弟である
彼の姿が――

彼の人生は
きっと
この四日間で
一変してしまった
のだと思います
兄であり
敵である
セイリュウ・ルーと
エマ姫を追って
船は今
国境を
越えようと
しています

Chapter 6 新型

ここからカルセドニーだ!

……
？
いや
おし！昨日オメーらが買って来たアレ！
アレで星石を隠せ!!

セレニティスでは珍しくない〝星石持ち〟も他国では異能者だ

混乱を招く恐れもあるし
星印は隠しておくべきだろう

ローランは両肩だったたな
は
服は剥がれるなよ

大丈夫大丈夫
こそこそ

胸の谷間がもっとあれば脱がされても隠せるんだがなぁ〜

……俺……上官なんだけど

父さん
母さん

ザッ

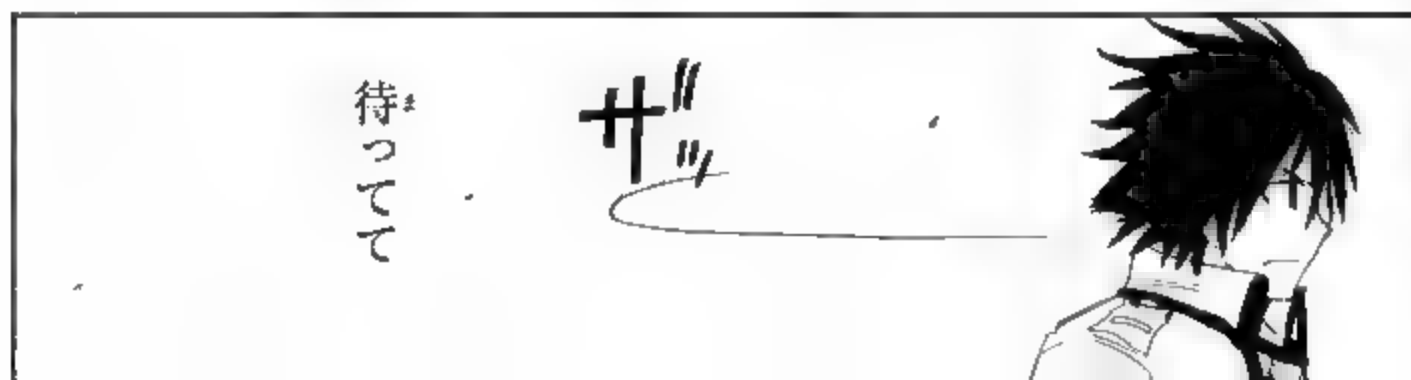
待ってて

足が軽くなった
ショートブーツになった

そうですか
じゃあこれまで以上に速さにキレが出ますね きっと

お前は17歳だと聞いた
はい
同い年だ 敬語でなくていい

……でも
アルジュナ少尉の方が階級が上ですし

あなた達のような仲間と協力もできない戦士が
勝てるとは思えない
仲間…協力…
…同じ
隊の
アレだ
その……
……

アルジュナ少尉は
愛称は何と？ご家族やお友達に呼ばれる時の

愛称なんてない

父上も兄上も私がお嫌いだ
友達と呼べる奴も特には——

はっ

いや…違うぞ！
私に釣り合う人間がいなかったんだ

別に友達ができなかったとかじゃなくて一人の方がラクだったし

いや一人ぼっちだったってワケでもないが

……何を話してるんだ私は…！

愛称で…
〝フェイ〟と

フェイ
早く準備しないと
置いていくよ?

……ん
もそ…

あ？
コレも俺んだな
コレもか？
自分で持ってくださいよ!!
ずし…
全ては年功序列だよお坊っちゃん

上官に生意気な口を利くなルー!!
階級はお前が一番下だ!!
ザッ
アレ

脇から現れて何だよアンタは！
敬語を使えっ!!私も上官だぞ！
ルー准尉はダメなんだ…

先が思いやられる…
ギャー
ギャー

ザッ
ご苦労
いえ
……
察しのとおりだ
例の古地図だよ
コイツを扱うのに
軍の人間は
使いづらい

――私は
どこまで聞いて良い話なんでしょうか？
全部聞いて構わん
代わりに俺を絶対としろローラン
疑うな
了解
よし
ばぃん
あ

痛づ…！
わしっ
ガ
これは失礼っ!!
ガバァ
おケガはありませんか!!

ご連絡を受けて参上しました我々──

カルセドニー軍対外特務本部一課のグレンデル少佐と

ヴリトラ中尉でありますっ!!

それでは
皆さん
このまま
入国管理局で
手続きを――
待て

何か
身分を証明
できる物は？

本物なら
我が国の外交官を
同行させるぐらいの
配慮があっても
良さそうなもんだが

我々を…
疑っておいでで!?
待て
……軍の
隊員証明証を

それから

セレニティス軍
クォーラル・ボウド大佐
からの申請書です

外交官は
本日一五〇〇に
こちらに到着予定と
書いてあります

よし

じゃあここからは二手に分かれるぞ

フレイル・アルジュナ
ミセリ・コルデ
まあ ガキだけじゃ何なんでローラン

ガキ!!?

グレンデル少佐に案内してもらって入国手続きを済ませてこい

よろしく

細目同士

よろしく

俺とザン・ルーは敵の最初の足取りを確認しに行く

案内はヴァリトラ中尉頼む

ヨロシクッ!!

よろ

ぶほッ

三時間後
一五〇〇
この場所に集合だ
いいな
了解!

隊長
ん?

お気をつけて

クレシエンドCと
名乗る連中が
我が国に入国したのは
二日前!!
入国から二時間後
まずは自動車を
チャーターしています!!

いや…／話には聞いた事ありましたけど……

ホントに勝手に走ってる……

俺らの国では星石ですべてのエネルギーをまかなってるがな

こちらさんは別のエネルギー源を使って

鉄や機械を動かす技術を発展させているのさ

最近では貴国から
輸入した星石を
科学に活かす
研究も活発です!!
エネルギー源として
星石の力は
素晴らしいんだとか!!
しかし私は
見た目自体が
とても好きですね!!
七色に光って
大変美しい!
お二人は
持ってないいん
ですか!!?
見せて
見せて!!
持ち歩くもんじゃ
ねえからな
つーか怖いな
お前
オメーの兄貴は
ガッポリ持ち歩いてた
けどなあ
兄貴…?
俺には
兄貴なんて
いませんが

次
俺の〝兄貴〟だと名乗る人間が現れたら——
殺します

父の無念を晴らし
投獄された母を救い
エマ姫を連れ戻し
敵を抹殺する
捕まえるだけでもいいですよ？
抹殺します
まあどっちでもいいけどね
そう言えばルー准尉お荷物が重そうですね
お持ちしましょう!!
いやそんな

遠慮ならさず！私 体力だけが取り柄なんですよ!!
皆さん長距離を移動して来られたんですから
じゃあ…
ザン・ルー!!
渡すな!!!

え

ハハア!!

な…

…何のつもりだ?
そちらのサブラ中将とは面識がある
話せば懲戒だけじゃ済まんぞ

サブラ中将!!
カルセドニー軍の中枢におられる恐ろしい人物ですね!!
ヴリトラ中尉の軍人生命は間違いなく終わった!!

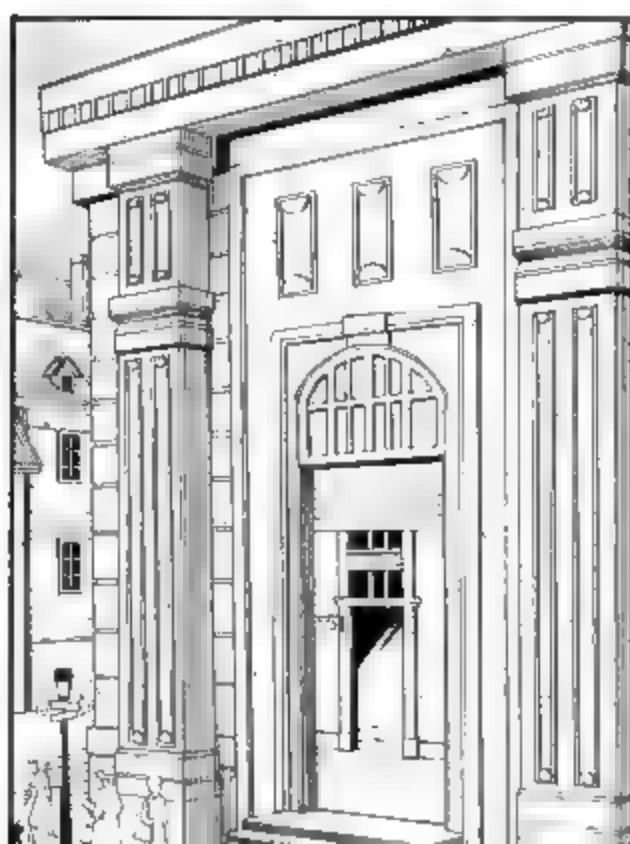
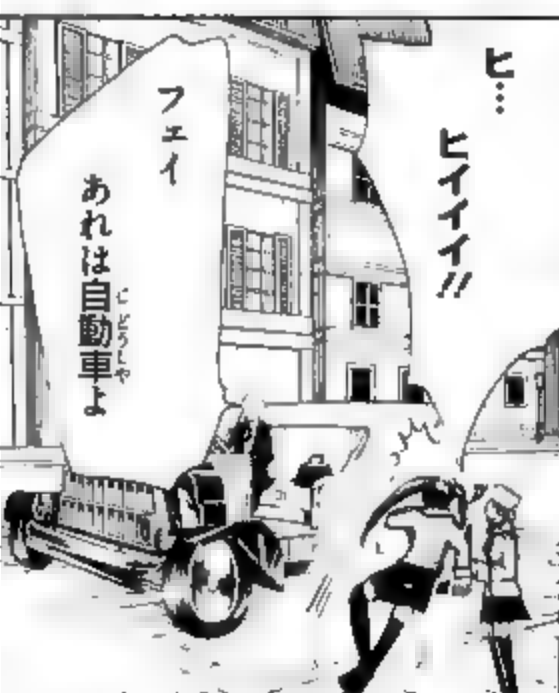
ただし

『ヴリトラ中尉』が
生きていればの
話ですがっ!!

本物を殺したのか…
思ったより過激に動くな
ち

三日月公社の……

敵の回し者か

私が受けた
命令は
〝ヤツらが持つ
地図を奪え〟
〝ヤツら〟とは
赤毛で隻眼の男
クロス・ボウドが率いる
セレニティス軍の小隊
あなた方は
我がクレシェンドCから
特別嫌われている
ようですなっ!!
ここが
入国管理局
ええ
ヒ…
ヒイイイ!!
フェイ
あれは自動車よ

皆さん奥へ

一番奥へ
お進み下さい

ついでに!!
二度と動けないよう
足止めすれば
ご褒美も
頂けるとの
お話だ!!

了解!!

アイツらの仲間なら——

容赦しない!!
威勢の良いチビだ!!
ガあぁァアッ!!!

力勝負なら負けんぞオオオ

本当に生身の人間か…⁉

これならどうだ‼

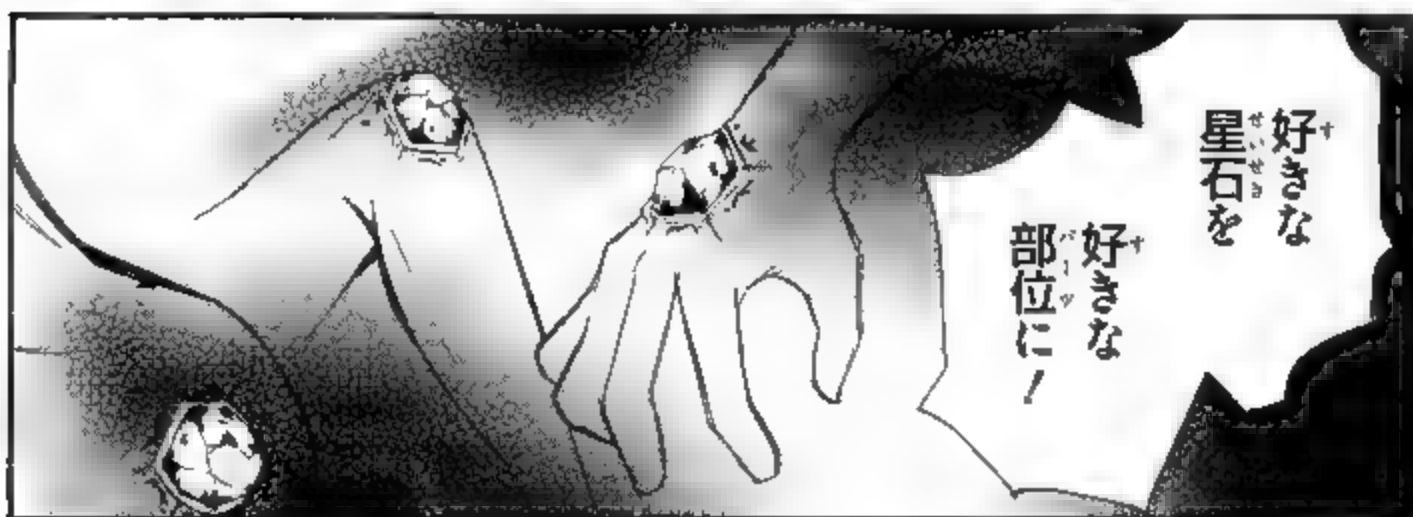
どうもならー——ん!!!

……
〝星石持ち〟なんて人工的に造れるんですよ!!
波動を出した…!?
あなた方田舎者には驚きでしょうが!!

な…!!!

星石が埋めこまれてる!!?

ハア!!
この!
!!!

げほぁッ
―!!
足にも星石が!?

いくらでも
強くなれる!!
いくらでも
進化できるのだ!!!

その星石は
どこで手に入れた?
フチが腐ってる
ように見えるが

"星石持ち"の
体から
抉り出したのか

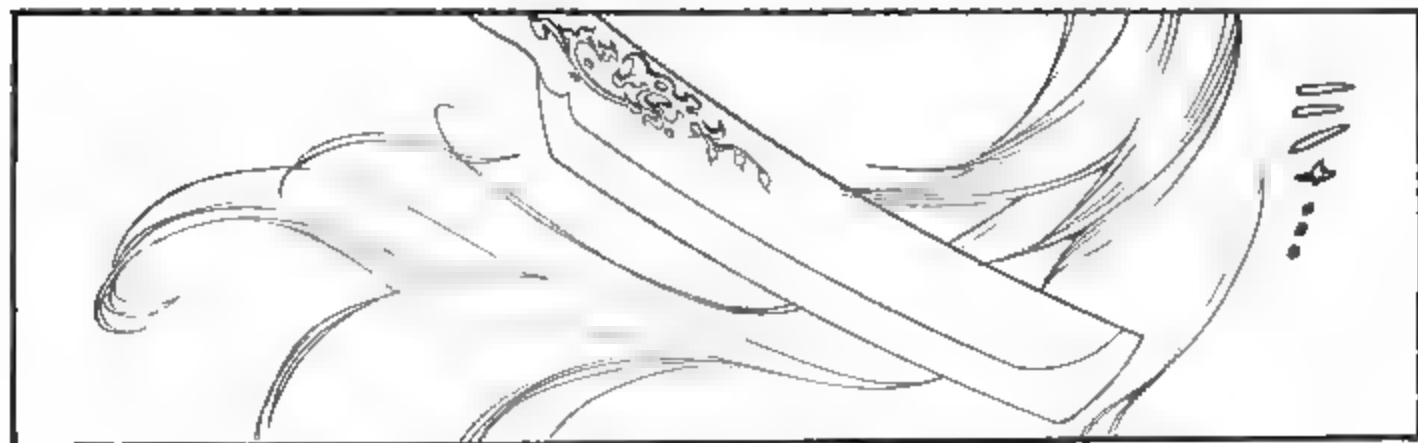
!

……気色の悪い……!!

皇都襲撃時マーハン・ルーの星石も抉られていたな

アレも〝新型〟とやらのためだったのか

ミャ…
ミャ
ミャ
パサ
パサ
パサ

こんなに
切らなくとも
良かったのに
それでは
足りない
ぐらいよ
ガ
ア
!
ほら
今日も
一人――…

強い〝星石持ち〟の星石は
ギャアア
アァァ
より強力な力を持つ
屈強な戦士の星石ならば奪われて当然!!
我々〝新型〟はそれがほしい!!!

ほしい!!

ほしい!!

ほしいっ!!!

にィイイイッ!!?

ギギギ
ゲホ
何が〝新型〟だよ
人の星石を使って造った〝星石持ち〟のニセモノだろ

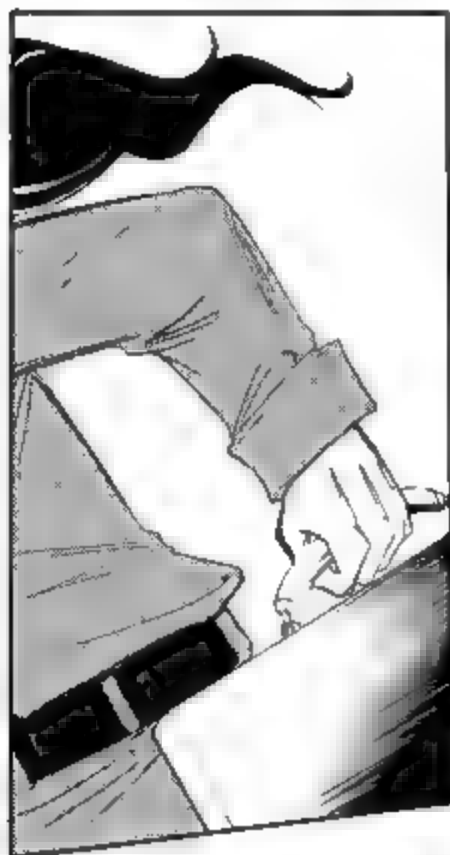
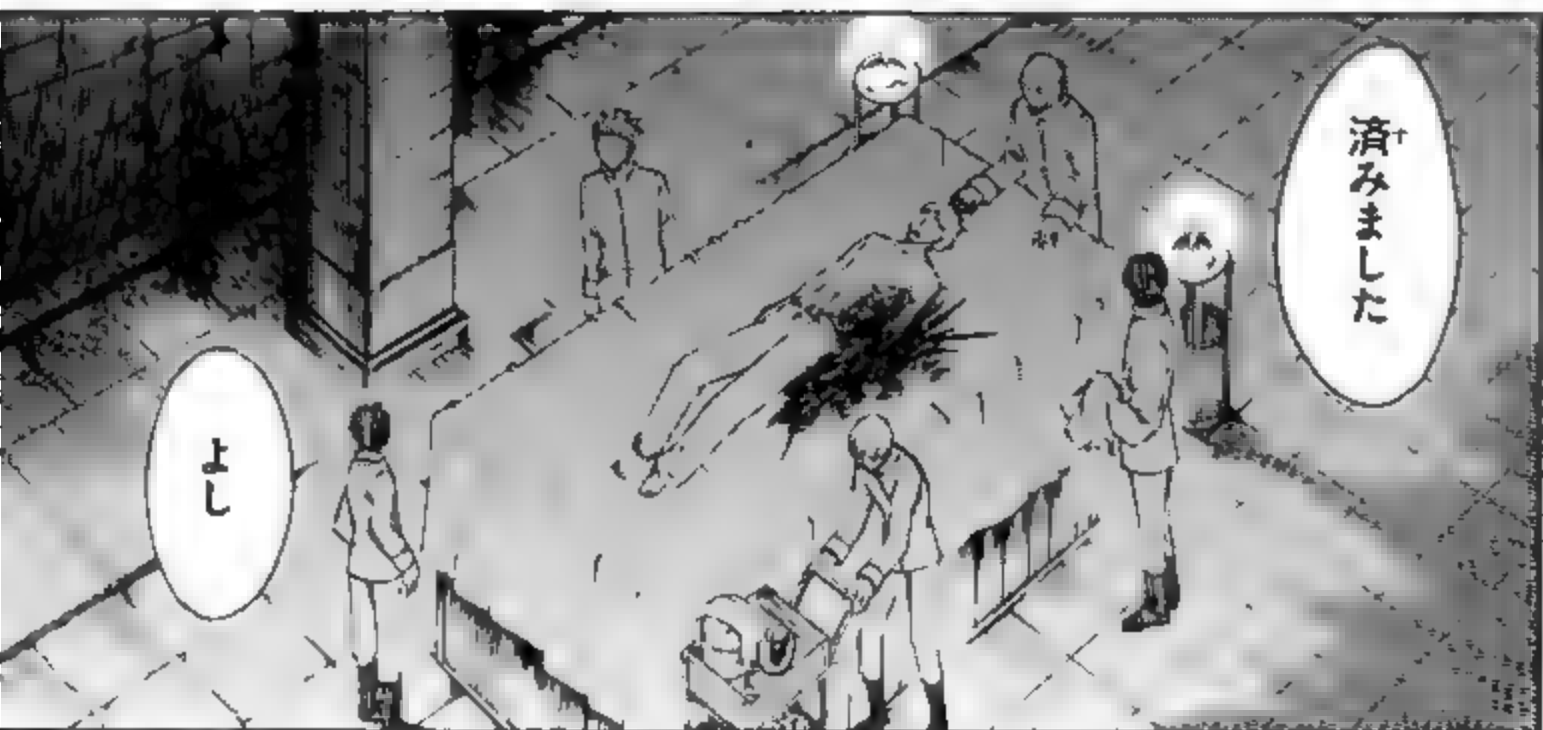
こっちが本物だ
ニセモノが!!
奪えるもんなら奪ってみろよ!!!

やっぱキャラ変わったよね
ニセモノ…ハ!
これだから田舎の人間は!!
新しい力を受け入れぬ者に進化の道はない!!

うあぁァア

おおオお

嗅ぎつけるのが早いって事は

用心してたたって事だ

行き先は当たりだな

済みました
よし
ボウド隊に同行する予定だったセレニティスの外交官です
さすがに良い星石を持っていた
せめてものたむけとして末の護り人エマの髪を

黄泉の国で幸せに
つづく

ブレイク・ハンズ
星石を継ぐ者

ブレイクハンズ② あとがき

ブレイクハンズ 2巻 読んで下さった皆さん
ありがとうございます。

この巻の終わりの方で
すっかり主人公のキャラが変わってしまいましたが
お坊っちゃんのままでは なかなか
やっていけないので…。

現実世界でも 少年は大人になるにつれ
キャラ変わるよな、と 思って 見て頂ければ
幸いなのですが。
よろしく お付き合い願います。
兄弟で争ったりするから こんなことになるんです。
ロクでもないですね。
今日も ロクでもない ルー兄弟の ケンカの続きを
がんばって 考えようと思います。
レッツ シンキング。
よければ 3巻も よろしくです―。

佐々木

スタッフ： 植村えりか カミムラ よしの
助っ人： まんが家 友達 数名
ありがとう!!

ブレイクハンズ ～星石を継ぐ者～ 2

著者名……　佐々木ミノル

発行者……　三坂泰二

発行所……株式会社メディアファクトリー

http://www.mediafactory.co.jp/

2012年8月31日　　電子書籍版　ver.1.1.0